

千葉大学の目指すところ 千葉大学の経営改革ビジョン Chiba University Aspirations - 世界に冠たる千葉大学へ -

世界と伍する研究大学  
我が国の研究力発展を牽引  
“世界に冠たる千葉大学”へ

グローバルで活躍する人材  
世界レベルの実践型人材育成  
大学教育改革を断行

ビジョン・オリエンテッドな大学改革  
運営費交付金の割合を低下  
千葉大学ブランドの確立

# 千葉大学の目指すべき姿

## デジタル・トランスフォーメーション(DX)で世界に冠たる研究大学へ変革

DX共通  
キーワード

### 研究

- ◆研究データ基盤充実・強化
- ◆世界トップレベル研究展開
- ◆中堅・若手研究者の育成

国際的研究拠点の形成に向け  
「西千葉well-beingリサーチパーク構想  
(仮称)」での共同研究やディープテック分野のスタートアップ創出等の支援により外部資金の受入増

持続可能な研究基盤の構築

### 教育

- ◆データサイエンス  
学部・修士・博士  
学位プログラム同時設置

「未来志向型大学」として  
成長分野や本学の強みを生かした教育分野の再構築に向けた投資  
ST比の改善による教育改善や大学全体の教育改革を不断に実施

学修者から求められる大学として常に変革

### 経営 社会貢献

- ◆学内資源の再配分
- ◆既存の体制の再構築
- ◆多様な財源の確保

継続性・安定性の確保のために  
大学院教育の強化に向けたリソース再配分  
新たな研究投資への財源確保を強力に推進  
ポートフォリオの構築により資源配分見直し  
寄附金受入額拡大による教育研究投資

ビジョン実現に向け戦略投資ができる大学

### 経営改革ビジョン

World Leading Research

# 研究

研究大学としての機能向上  
特定の研究領域を世界  
トップレベルに引き上げる  
Well-being実現に資する研究(臨床医学・  
基礎生命、看護、リモセン、園芸等)

世界最先  
端研究に  
大型投資

若手・中堅  
に重点支援

多様な学内現状データの全取得

論文成果  
競争的研究費  
共同研究費  
国際共同研究  
国際共著論文数

博士学位取得数  
修士学生数進学率  
学生評価  
担当授業数  
就職先就職率

Global Education

# 教育

学部・大学院改革  
ST比による教員再配分  
社会実践人材育成  
ビジョン・オリエンテッド大学経営  
データサイエンス人材の積極的育成

魅力ある  
教育分野  
構築投資

## ●重点投資対象研究選定システム

分析結果をもとにした資源の再配分

## ●研究立案&研究予算決定システム

経営戦略基幹に設置

千葉大学  
ポートフォリオ  
戦略的  
分析経営

## ●データサイエンス学位プログラム設置 学部の再編・教員の再配置

## ●リスクリング・プログラム設置

コンサルティング型研究  
ロイヤルティ型実践研究  
未来農業コンサル

研究による継続的資金創生  
成果主義資金(ロイヤルティ)の創生

# 運営外部資金

Holistic Governance

コンサル  
ティング  
部門構築

DX分析で全資源の有効配分

寄附・共同研究講座  
共同研究リピート率  
分野別共同研究費  
大型共同研究数  
特許実施許諾数

事業受託費  
自治体連携実績  
研究外連携  
リカレント実績  
USR成果指標設置

学外からの評価指標の収集  
多様な学内現状データの全取得

社会還元型の研究・教育  
イノベーションエコシステム  
社会連携

研究成果の還元による社会への貢献  
必要人材のリスクリング・プログラム提供

# 社会貢献

Social Engagement

千葉大学  
ブランド  
構築投資

# 研究

現状認識・課題

- 1 研究DXのための全学的な研究データの保存・利活用体制が未構築
- 2 国際業務のURAを含めた事務管理体制が極めて脆弱
- 3 博士課程修了者がアカデミアで活躍するためのキャリアパスの構築が不十分

3つの取組

## 補助金による取組

- (1) 附属病院(臨床研究中核病院)が有する臨床データや部局等が有する健康情報等の多階層データを共有・解析するプラットフォームを整備  
リモートセンシングの研究データ基盤を整備  
→ 共通手法等の全学展開、附属病院を有する大学へモデル事業として普及
- (2) 国際業務に対応可能なURA等の事務管理体制の充実・強化
- (3) 博士課程修了後の研究者への支援制度を拡充

- ① 博士後期課程支援 現在 **200名以上**
- ②③④ 博士取得後支援 現在 **30名程度**

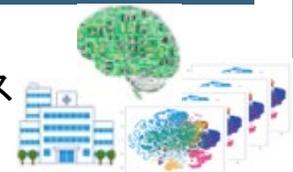
研究加速

## well-beingの実現へ貢献

世界トップレベルの国際的研究拠点をめざす重点領域

### AI治療学

データ駆動型医学研究をリードし、先制医療・ヘルスケアに向けた研究を加速



### 免疫・ワクチン開発研究

粘膜免疫分野を取り入れた次世代のワクチン開発研究を加速



### 環境リモートセンシング

災害被害低減等に資するデータサイエンスと衛星データによる研究を加速



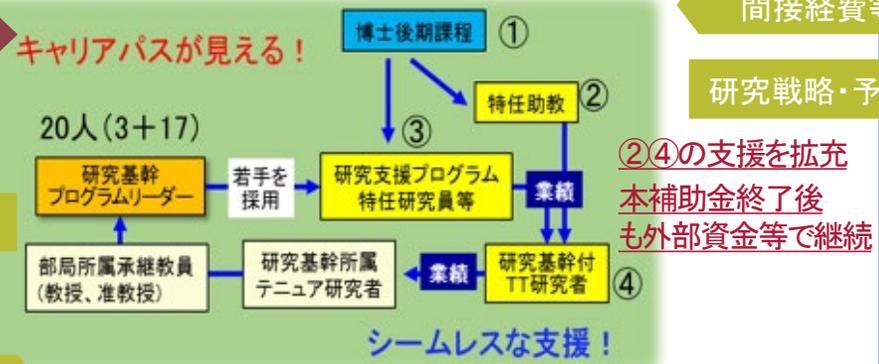
取組② データサイエンス学位プログラム 学部一博士同時設置

幅広い人材育成

取組③ ポートフォリオによる戦略的分析で学内資源の再配分

間接経費等還元

研究戦略・予算配分



幅広い人材育成

間接経費等還元

研究戦略・予算配分

②④の支援を拡充  
本補助金終了後も外部資金等で継続

K P I	R4	R5	R6	R7
重点領域のTop10%論文数	32	34	35	37
IAAR所属・支援研究者のTop10%論文数	49	51	55	60

# 教育

現状認識・課題

1 最先端のデータサイエンスを学ぶプログラムの提供が必須

2 文理を問わない多様なデータサイエンスプログラムをバンチ・プログラムで提供

3 新たな高大接続に向けたAPの加速と飛び級の推進

## 補助金による取組

4つの取組

- 教育1** ■ 未来の研究・教育を創造 大学の「知」の社会還元拡大
- 教育2** ■ 学位プログラムによる 良質な学修と柔軟な運営 存在しない仕事や専門領域を学問に
- 教育3** ■ 高大接続 インテンシブ学習 グローバル化 リアルAPをデータサイエンスから実施
- 教育4** ■ リスキング・プログラム 70%を企業人対象で教育収入を確保

## well-beingの実現へ貢献

グローバル+データサイエンスで 新たな実践型人材の育成

データサイエンス・エキスパート  
大学院データサイエンスでwell-beingを実現するデータ駆動型研究人材の育成

文理混合データサイエンティスト  
多様なジャンルでのデータサイエンスを実現する学位プログラムと副専攻開発

グローバルでデータサイエンス  
グローバル・ 이슈をしなやかなデータサイエンスにより解決

リスキングで新たな社会人教育  
企業と連携する人材育成の未来を構築し 戦略的なデータサイエンス人材育成

**取組① 研究** 研究データ活用 国際担当URA 博士後のキャリアパス

最先端研究提供

### 既存教育プログラムとのリンク

グローバルプログラム ENGINEプラン

全員留学 英語学習倍増 スマートラーニング推進



CHIBA UNIVERSITY SINCE 2020

副専攻 データサイエンス

世界で使える データサイエンス学習 海外キャンパスで実施

教育収入還元

教育戦略予算配分

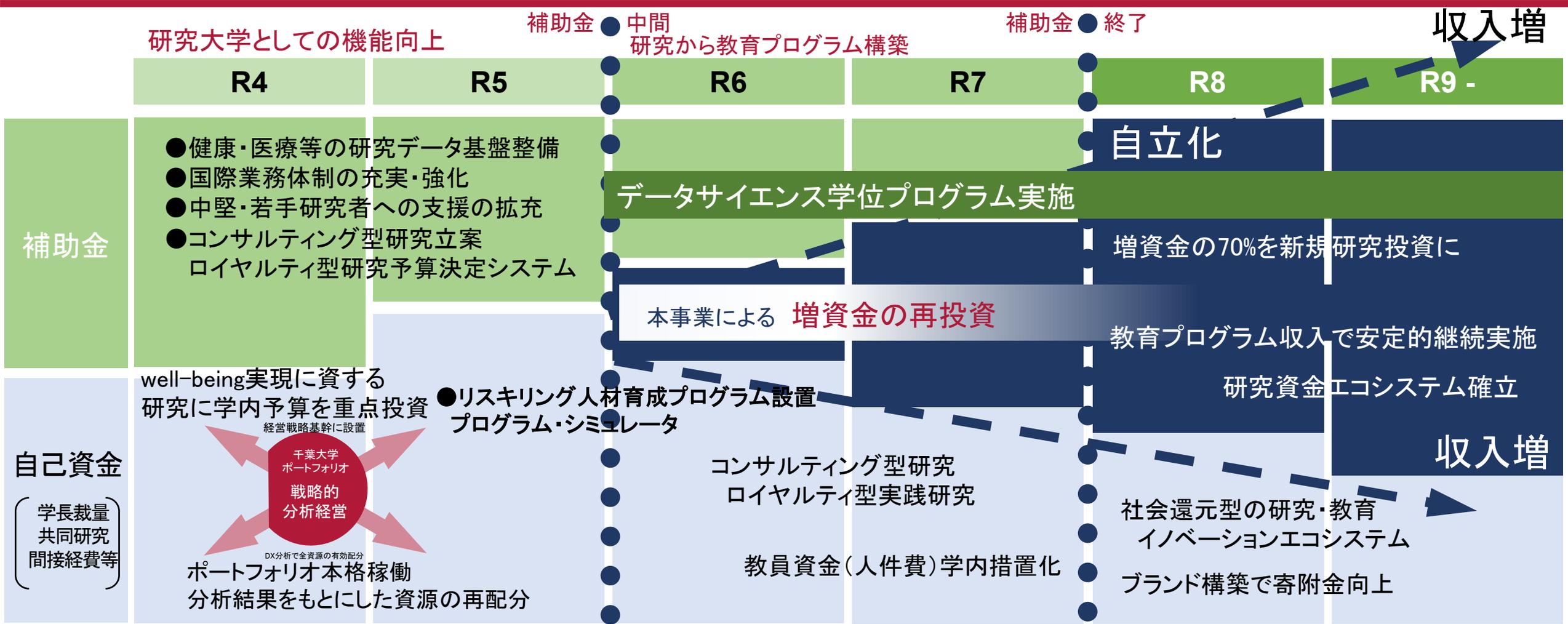
**取組③ 経営** ポートフォリオによる 戦略的分析で学内資源の再配分

教育収入還元

教育戦略予算配分

K P I	R4	R5	R6	R7
数理・データサイエンス・AI教育プログラム修了者数 (デジタルバッジ獲得学生数)	0	70	70	790
ハンディグリー・リスキング履修証明プログラム受講者数	0	20	50	70

ロードマップ 事業の持続性及び自己資金・外部資金等との連動 -補助金と自己資金のバランスを守り継続投資



**KPI**  
取組①・②については再掲

<事業全体>

① 経常収益に対する民間企業等からの研究資金等受入額の比率	12.9%→15.1%
-------------------------------	-------------

<取組①>

① 重点領域のTop10%論文数	178→192
② IAAR所属・支援研究者のTop10%論文数	49→60

<取組②>

① 数理・データサイエンス・AIプログラム(応用基礎)修了者数	0→790
② データサイエンス・リスクリシグ・プログラム 受講学生数	0→70

<取組③>

① 教員配置の見直し	期間中に210人
② 学生定員見直し(大学院定員)	3,000→3,300
③ 寄附金受入額の拡大	2.8億円→5.0億円